

地元産ミネラル野菜を食べて 健やかに育つ“小野の健児”



枝豆給食（浮金小学校）

このたび、ミネラル分に富んだ新鮮な野菜を子どもたちに食べてもらおうと、JAたむら小野支部ミネラル野菜部会によって、学校給食食材として枝豆、トマトの提供がありました。こうした活動は今年で4年目を迎えました。会員の好意によって、今年度新たにトマトも加わりました。

提供のあった食材は、「甘くておいしい」と子どもたちにも好評で、また、地元の農産物や自らの食生活を振り返る機会として、食育にも貢献しています。

食材をご提供いただいたみなさんに、紙上よりお礼申し上げます。

JAたむら小野支部ミネラル野菜部会 学校給食の食材提供



枝豆給食（夏井第二小学校）

学校給食における「地産地消」の取り組み 福島県産水産物の学校給食食材利用

町では、地域水産業に対する食育の実践と水産物地産地消の推進を目的として、福島県水産事務所の補助を受けて「県産水産物学校給食推進事業」に取り組んでいます。

魚介類は他の食材と比べて割高であるため、給食としての提供が難しい状況にありましたが、今年度より、県内で水揚げされたカツオ、サケ、ホッケガイといった水産物を利用した学校給食を月1回程度実施しています。

これを機会に子どもたちが、地域水産物資源に関心をもったり、旬のものを味わったりすることに役立つものと期待しています。

10月11日は地産地消月間です。みなさんのご家庭でも、地元産農産物、水産物に親しんでみませんか。



「県産水産物」給食（小野新町小学校）